



出穂後の管理作業！

平年では裸麦が4月2半旬頃、小麦が4月2～3半旬頃出穂を迎えますが、今年は平年並からやや遅れると予想されます。出穂後の主な作業「赤かび病防除」と「醤油・パン用小麦の実肥」は、実施時期が重要なので、麦の生育を確認し、作業計画をたてましょう！

その1. 赤かび病防除は適期2回が基本です！

麦作では赤かび病防除が不可欠です。適期防除で全量一等を目指しましょう。

【赤かび病の防除適期】

1回目は、開花最盛期！

[開花最盛期の目安]

- ・小麦は、出穂期の7～10日後頃
- ・裸麦は、出穂期の5～7日後頃

2回目は、1回目の7～10日後！



※出穂期：4～5割の穂が出穂した時

■使用薬剤の例

1回目	2回目	使用時期
ワークアップフロアブル (2,000倍) または シルバキュアフロアブル (2,000倍)	トップジンM水和剤※ (1,000～1,500倍) または トップジンMゾル 〔小麦1,000～1,500倍〕 〔裸麦1,500倍〕	○ワークアップフロアブル →小麦、裸麦とも収穫7日前まで ○シルバキュアフロアブル →小麦収穫7日、裸麦14日前まで ○トップジンM水和剤 →小麦収穫14日、 <u>裸麦30日前まで</u> ○トップジンMゾル →小麦、裸麦とも収穫14日前まで

※トップジンM水和剤は、裸麦では収穫30日前までしか使用できないので、2回目防除に使用しないよう注意してください。

その2. 醤油・パン用小麦には実肥が必要です！

タンパク含有率を上げるため、実肥の施用が必須です。高タンパク含有率で「Aランク」を目指しましょう。

■実肥の施用方法

	施肥時期	施肥量 (10a当たり)
慣行施肥	ニシノカオリ :出穂後0～10日頃 ミナミノカオリ:出穂後5～10日頃	硫安 30kg または、尿素 13kg
省力施肥 (葉面散布)	赤かび病防除の際に尿素を混用し散布(2回)	尿素6kgを水100Lに溶かし 2回散布※

※葉ヤケが発生しますが、品質・収量に影響はありません。

排水対策は、引き続き収穫まできちんと行ってください！